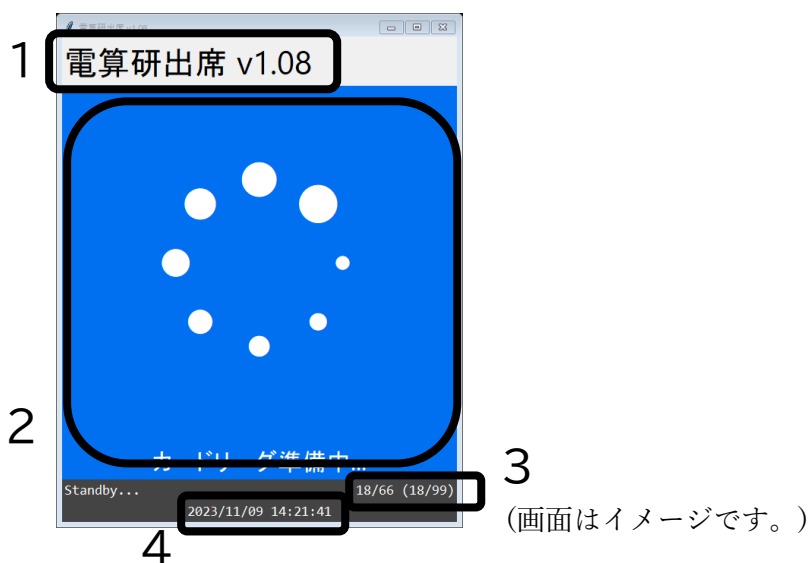


1. はじめに

このファイルは金沢工業大学 電子計算機研究会(11.402)に向けた総会等の出席確認システムの管理者向け取扱説明書(メンテナンスマニュアル)となっています。仕様の解説及び、トラブル発生時に管理者が対処する事項を記述しています。

2. 表示の説明



1. タイトルとバージョン表記

システムのバージョンがこちらから確認できます。

2. 状態/指示表示

現在の状態や指示を表示する部分です。エラーコードなどもこちらに表示されます。

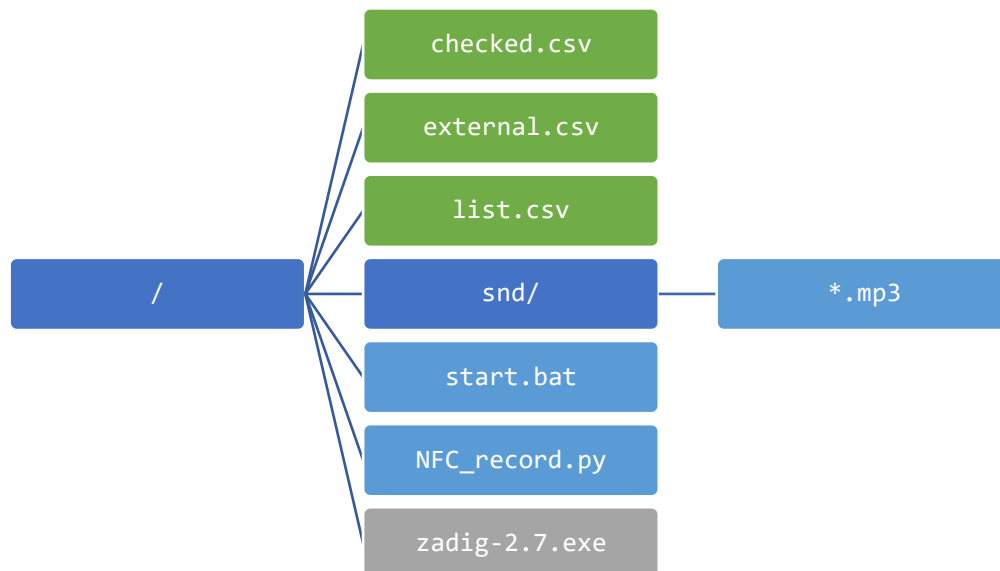
3. 出席者数 / 出席義務者数 (全体出席者数 / 全体人数)

このシステムが管理している出席者数と出席が必要な人数、全体出席者数(4 年生や事前連絡者などの任意出席者)、全体人数を表示しています。

4. 現在の日時

現在の日時を確認できます。

3. ファイル構造



`/zadig*.exe` は NFC カードリーダーライター(RC-380S など)を Python 上で動作できるようにドライバを変更するアプリケーションになります。

4. セットアップや管理方法

アプリケーションの実行には `pip` による `pygame nfcpy` のライブラリインストールが必要です。

`python -m pip install pygame nfcpy` または
`pip install pygame nfcpy` を実行してインストールして下さい。以降、`<stid>`とは、学籍番号7桁を差します。

- `list.csv` に `<stid>`, 名前 の形式で**全体の名簿**を予め登録してください。
- `external.csv` に `<stid>`, 名前 の形式で4年生や事前連絡者など、**出席が任意の名簿**を予め登録してください。(終了処理に減算されます。)
- `checked.csv` には出席した人の名簿が記録されます。
- アプリケーション終了後に、`absent_YYMM.log` (YYMM は年下2桁、月2桁) には無断欠席者が記録されます。

5. 起動方法

部室にある HP 製タッチスクリーン付き PC の起動方法になります。標準では一部の手順をスキップすることが出来ます。

1. `start.bat` を起動します。
2. 利用者がシステムを利用できる状態になります。
 - 出席者にカードリーダーに学生証をかざして貰うよう促して下さい。
3. 間違えてウィンドウを閉じて終了しても、再度 1. からやり直すことでシステムを再開出来ます。このとき、`checked.csv` から出席済みの名簿を読み込みます。

6. 保守

出席管理を運用する上で、問題解決が必要な場合は下記に沿って対応して下さい。

- エラーコードの対応

エラーコード	概要と対応
(ftal) E01	カードリーダーが接続されていない、他のカードリーダーを使用するシステムと競合している、または libusb が割り当てられていない可能性もあるので、zadig による再インストールや、接続を確認して下さい。
E20	名簿照会の際、該当者がいなかった場合に表示されます。 <code>list.csv</code> を確認し、必要に応じて追加して下さい。
(warn) E10	学生証を読み込もうとした時、例外 AttributeError が発生した際に表示されます。主に学生証ではない IC カードをかざした際に表示されます。
E11	学生証を読み込もうとした時、例外 nfc.tag.tt3.Type3TagCommandError が発生した際に表示されます。主にタッチが早すぎた場合に表示されます。
(log) E51	出席の記録が書き込めない場合に表示されます。権限設定などを確認してください。万一、記録が完了する前に終了してしまった場合は再度出席確認をお願いして貰うようにしてください。

7. その他

- 10 キーについて
 - 基本使用しませんが、学籍番号を入力して「E」を押下すると学生証をかざした際と同等の処理がなされます。臨時対応用です。

- 機能追加など
 - プログラムできるつよつよお兄さんが来たら追加して貰うか何かして下さい。
 - ついでにそのお方に次期メンテナンスを依頼することを推奨します。
- えっ、このクソみてえなパスタコードを再開発したいって？
 - どうぞどうぞ、しがない学生が作ったお粗末コードなので是非是非再開発しちゃって下さい。
 - 参考元として、学生証から学籍番号を引っ張ってこれる python ソースを貼っておきます。(過去に KIT にいた教授です。)
☆ <https://github.com/nakanolab/nfc-attendance>
- 最悪なケース...
 - メンテナンスする人が誰もおらず、システムが深刻な状況になり、対応が取れない場合が想定されます。
 - 従来は名簿を印刷したものに出席記録を取っていましたので、そちらで臨時対応することも視野に入れて下さい。